

先行開発段階のコアツール テクノロジーロードマップ

～“ダントツ商品”を生み出すための開発プロセスを学ぶ!～

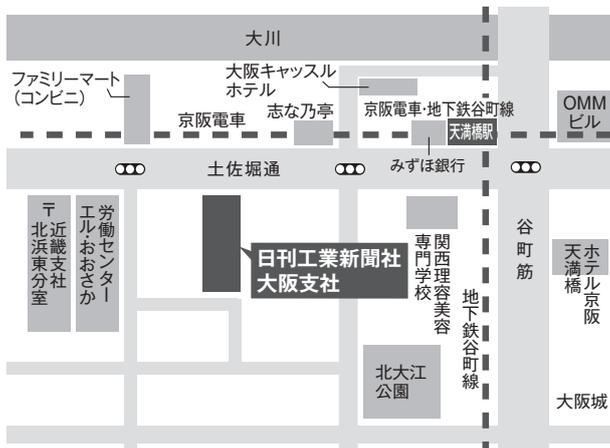
日時 2020年9月16日(水) 10:00～17:00 (9:30 受付開始、休憩 12:30～13:30)

会場 日刊工業新聞社 大阪支社 セミナー会場 大阪市中央区北浜東 2-16

受講料 44,000円 (資料含む、消費税込) *同時複数人数のお申し込みは2人目から39,600円
※追加申込の際は備考欄に「複数割引適用希望」とご記載ください。
(記載が無い場合は通常料金のご請求となる場合がございます。予めご了承ください)

*9月15日(火)開催のセミナー「先行開発段階で必要な設計力を学ぶ」を受講された方は、27,500円で受講いただけます。

大阪会場 (日刊工業新聞社 大阪支社10階)
大阪市中央区北浜東2-16 TEL:06(6946)3382



*天満橋駅(京阪電車、地下鉄谷町線)下車徒歩3分

■新大阪駅から地下鉄御堂筋線(新大阪→淀屋橋)北側出口 乗換、

京阪電車(淀屋橋→天満橋)西改札口

■大阪駅から地下鉄谷町線(東梅田→天満橋)北側2番出口

※会場には受講者用の駐車場がありません。必ず最寄りの公共交通機関でご来場ください。

セミナー申込を検討中の皆さまへ

新型コロナウイルス感染症に伴うセミナー開催及び対応について、弊社WEBサイトにてご確認ください。

<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/view/3693>

受講にあたり

開催決定後、受講票並び請求書をご郵送いたします。

申込者が最少催行人数に達していない講座の場合、開催を見送りとさせていただきます。(担当者より一週間前を目途にご連絡致します。)

お申し込み方法

ホームページ (<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search>) または、下記申込書をご記入のうえFAXにてお申し込みください。

受講料

セミナー開催日1週間前までに銀行振込にてお支払いください。

振込手数料は貴社でご負担願います。

キャンセルポリシー

開催日1週間前までの受付とさせていただきます。1週間前までにご連絡がない場合はご欠席の方もキャンセル料として受講料全額を頂きます。

申込・問合せ

日刊工業新聞社 総合事業局 セミナー事業部

TEL 03 (5644) 7222 FAX 03 (5644) 7215

受講申込書

9/16 ロードマップ

お申し込みは

<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search>

会社名	フリガナ	業種	
氏名	フリガナ	TEL	
	部署・役職	FAX	
所在地	〒	E-mail	※今後、E-mailによるご案内を希望しない方は <input type="checkbox"/> チェックをしてください。
備考			

個人情報の取り扱いについて

ご登録いただいた情報は日刊工業新聞社が細心の注意を払い、展示会・セミナー・サービス等、各種ご案内を送らせていただくことを目的に利用させていただきます。なお、宛先変更・配信停止をご希望の際は右記までご連絡ください。【ご連絡先】日刊工業サービスセンター 情報事業部 nkmail01@nikkansc.co.jp

No.202133

開催主旨

新製品の開発にあたり、どういったものを、どういったポリシーで作るか、という方向性は非常に重要なのは言うまでもありません。また一度定まった方向性から途中で逸脱してしまっていないか、確認しながら進めていくことも大切です。ロードマップとは、そもそも対象市場・自社製品・技術の進化の動向を表したもので、新たな先行開発テーマを構想する際の最重要課題である「目標の設定」の妥当性を見極める文字通り「道しるべ」として活用できます。

本セミナーでは、先行開発段階での「目標設定」などの設計プロセスを進める上でのコアツールとしてロードマップを捉え、「その策定プロセスと競争優位の関係」を主題として解説します。

まず、多様なロードマップを分類しながら多くの事例を紹介し、ロードマップそのものについての理解を深めて頂くと同時に、事業内容が様々な受講者の皆様それぞれにマッチしたロードマップのイメージとは何かを掴んで頂く事を最初の狙いとし、次に、実際にロードマップ作りを簡単な事例で体験頂きながら、基本のフレームワークとロードマップに共通な必須要件が何かを実感頂き、さらに自社の長を掴んだロードマップに深化させる方法を習得頂き、先行開発段階でロードマップをツールとして使いこなして頂く事を狙いとし、

特に設計技術者の方は、前日に開催するセミナー「先行開発段階で必要な設計力を学ぶ」とセットで受講することにより、より相乗効果が期待できます。両方受講いただいた場合、受講料がお得となっておりますので、ぜひご検討ください。

【受講対象者】

主に先行開発に関わる部署の方々（事業企画、研究開発、製品設計）
ロードマップそのものについて理解を深めて頂く為の事例紹介や基本事項の解説および作成体験を含みますので、ロードマップに関心のある方ならどなたでも受講頂けます。

【研修の効果】

- ・技術ロードマップの変遷・多様な様式などから技術ロードマップそのものについての理解を深めることができます。
- ・技術ロードマップの作成フレームワークと必須要件を、体験を通じて習得できます。
- ・先行開発段階のコアツールとして、技術ロードマップを活用する方法を学べます。

講師

(株)ワールドテック 講師 **佐藤 進氏**

【略歴】 1971年、デンソーに入社。電子デバイスの研究開発に携わる。
1998年からデバイス事業部 技術企画室にて新技術開発構想・ロードマップ作成を含む技術管理業務を担当。
2004～09年ナノテクノロジービジネス推進協議会 (NBCI 東京) に出向し、テクノロジーロードマップ委員会の事務局を担当。作成したナノテクノロジーロードマップを基軸に、ナノテクの事業化推進のため、経済産業省などの官庁、産総研など海外を含むナノテク研究機関、関連団体などの連携を推進。
2011年デンソーを退職。現在、(株)ワールドテックで技術支援や講師に従事。

プログラム

第1章 技術ロードマップとは

種々の様式のロードマップとその狙いの違いから
ロードマップそのものへの理解を深める

- 1) 技術ロードマップの基本構成と定義
最小限の構成要素、関係部署の参画、
- 2) 技術ロードマップの変遷と事例紹介
モトローラ社に始まる企業、産業界、公的機関などの技術ロードマップの事例とそれぞれの特徴を紹介
- 3) 技術ロードマップの分類
標記様式、策定セクターの視点で分類し、その狙いの違いにつき解説

第2章 技術ロードマップの策定 (ロードマッピング)の進め方

ロードマップ作成のフレームワーク、策定のためのツール
について学ぶ

- 1) ロードマッピングの概要
- 2) ロードマッピングのフレームワーク
マーケットプルとテクノロジープッシュ

3) ロードマッピングの速習

- ① T-planによる作成フレームワーク
 - ② 事例をテーマに上記フレームワークに従って作成を体験
- ### 4) 納得できるロードマップにするための必須要件とサポートツール
- ① ロードマップの必須要件
 - ② サポートツール
マーケットフォアサイト法、デルファイ法、
クロスインパクトマトリックス法

第3章 先行開発段階の企画構想と 技術ロードマップの深化

世界No1製品作りなどの先行開発段階の難関である目標設定に役立つロードマップの深化について学ぶ

- 1) 目標設定とロードマップとの関係
- 2) 深化の基軸コアコンピタンス
- 3) コアコンピタンスの抉り出し
- 4) 新たな展開のためのロードマップローリングの薦め